

# 歴史的分野指導計画表・評価規準

【評価の観点の略称】知識・技能＝知技，思考・判断・表現＝思判表，主体的に学習に取り組む態度＝態度  
 (○＝「評定に用いる評価」，●＝「学習改善につなげる評価」)

## 第4章 近世の日本

### 2節 東アジア世界との関わりと社会の変動

◆評価規準（各時間）

主な学習内容	学習目標	評価規準
<b>3 東アジアとの交流</b> (p.80～81) 日明貿易 朝鮮との貿易 琉球王国の成立 アイヌ民族の交易	東シナ海をはさんだ中国・日本・朝鮮の結びつきや、蝦夷地の動きを捉える。 琉球や蝦夷地の人々の交流や結びつきについて理解する。	地図を活用して、日明貿易の様子、琉球の役割、蝦夷地の動きなどを読み取っている。(知技) 琉球が中継貿易で栄え、中国・朝鮮・東南アジアを結びつけていたことを理解している。(知技)
<b>4 産業の発達と民衆の生活</b> (p.82～83) 農業の進歩と手工業の発展 商業の発展と都市の成長 村の自治	農業や商業・手工業などが発達し、民衆の力が伸びてきたことを理解する。 畿内を中心に自治的な組織が生まれたことを、土一揆などの様子から捉える。	農業や商業・手工業の発達が当時の社会におよぼした影響について考察している。(思判表) 文献資料や碑文などから、民衆の成長の様子を読み取っている。(知技)
<b>5 応仁の乱と戦国大名</b> (p.84～85) 応仁の乱 戦国大名の登場と城下町	応仁の乱の原因や経過、その後の社会におよぼした影響について理解する。 戦国大名の登場とその支配について、応仁の乱や下剋上の風潮から考える。	さまざまな資料から、下剋上の風潮が全国に広がったことを読み取っている。(知技)

### 1節 ヨーロッパ人との出会いと全国統一（配当8時間）

◆評価規準（各時間）

主な学習内容	学習目標	評価規準
<b>1 中世ヨーロッパとイスラム世界</b> (p.100～101) 中世のヨーロッパ イスラム世界の拡大 十字軍	<ul style="list-style-type: none"> <li>古代のローマ帝国の分裂とそれに伴うキリスト教会の分裂を理解する。</li> <li>資料から、イスラム世界の広がりや文化の先進性を理解する。</li> <li>十字軍の動きを通して、イスラム文化がヨーロッパに伝わったことを理解する。</li> </ul>	●中世のヨーロッパ世界と同時期のイスラムの世界の成立と、両者の関係を理解している。(知技)
<b>2 ルネサンスと宗教改革</b> (p.102～103) ルネサンス 宗教改革 近世への移り変わり	<ul style="list-style-type: none"> <li>ルネサンスと宗教改革を通して、ヨーロッパ世界の変化の様子を理解する。</li> </ul>	●ルネサンスと宗教改革がヨーロッパ世界に及ぼした変化を理解している。(知技)
<b>3 ヨーロッパ世界の拡大</b> (p.104～105)	<ul style="list-style-type: none"> <li>アメリカ大陸とアフリカ大陸の様子から、ヨーロッパの世界進出の影響を理解する。</li> </ul>	●ヨーロッパの世界進出がアメリカ大陸やアフリカ大陸に及ぼした影響を理解し

歴史－1

大航海時代 アメリカ大陸の植民地化 オランダの台頭	る。 ●主にアジアとイスラム商人との関係から、ヨーロッパ人が海外に進出した理由を考察し、表現する。	ている。(知技) ●ヨーロッパ人がアジアを目指した理由を考察し、表現している。(思判表)
<b>4 ヨーロッパ人との出会い</b> (p.106～107) 鉄砲の伝来 キリスト教の伝来と広まり 南蛮貿易とキリシタン大名	●掲載資料から、ヨーロッパ人が日本にもたらしたものを理解する。 ●掲載資料から、鉄砲とキリスト教が日本の社会に広まった様子を理解する。	●ヨーロッパの様々な文物やキリスト教が、日本社会に広まっていく様子を理解している。(知技)
<b>5 織田信長・豊臣秀吉による統一事業</b> (p.108～109) 織田信長の統一事業 豊臣秀吉の全国統一 宣教師の追放	●織田信長と豊臣秀吉によって全国が統一されたことを理解する。 ●バテレン追放令から、豊臣秀吉のキリスト教対策を理解する。 ●織田信長の政策から、商工業が発達した理由を考察し、表現する。	●織田信長と豊臣秀吉による統一事業の過程を理解している。(知技) ●豊臣秀吉がキリスト教の信仰自体は禁止せず、貿易を続けていたことを理解している。(知技) ●織田信長の政策が商業を発達させたことを考察し、表現している。(思判表)
<b>6 兵農分離と秀吉の対外政策</b> (p.110～111) 太閤検地と刀狩 朝鮮侵略	●朝鮮侵略のあらましと、その後の日本に与えた影響を理解する。 ●太閤検地と刀狩によって、社会がどのように変化したかを考察し、表現する。	●資料から朝鮮侵略の過程とその影響を理解している。(知技) ●兵農分離の政策によって社会の枠組みがどのように変化したかを、中世の社会と比較して考察し、表現している。(思判表)
<b>7 桃山文化</b> (p.112～113) 天下統一と豪壮な文化 芸能と生活文化の展開 南蛮文化	●ヨーロッパ人の来航によって生まれた文化の様子とその影響を理解する。 ●桃山文化の特色を建築・絵画・芸能などから理解し、その特色が生まれた理由を考察し、表現する。	●ヨーロッパ人の来航によって生まれた新しい文化について理解している。(知技) ●桃山文化の特色を、生活に根ざした文化の広がりや武将・豪商の経済力、中世の文化の継承などの視点から考察し、表現している。(思判表)

**2 節 江戸幕府の成立と対外政策**

◆評価規準の例 (各時間)

主な学習内容	学習目標	評価規準の例
<b>1 江戸幕府の成立と支配の仕組み</b> (p.114～115) 江戸幕府の成立 幕藩体制の確立 大名・朝廷の統制	●江戸時代の政治制度のあらましと、幕府による大名や朝廷の統制について、大名配置や武家諸法度などの資料から理解する。	●「主な大名の配置」などの資料から大名統制の方法を読み取って理解している。(知技)
<b>2 さまざまな身分と暮らし</b> (p.116～117) 武士と町人 村と百姓 差別された人々	●江戸時代の身分制度と武士、百姓、町人それぞれの職分や生活の様子を理解する。 ●百姓や町人とは別に、差別された身分の人々がいたことについて理解する。	●「身分別の人口の割合」「都市と農村の支配の仕組み」などから、江戸時代の身分とそれぞれの職分や自治の様子を理解している。(知技)
<b>3 貿易の振興から鎖国へ</b> (p.118～119) 積極的な貿易政策 禁教と貿易統制の強化 島原・天草一揆と鎖国	●島原・天草一揆以後に幕府がとった対策と、その影響を理解する。 ●江戸幕府の対外政策の変化について年表などから捉え、貿易の振興から鎖国へと方針を変えた理由を考察し、表現する。	●島原・天草一揆以後に幕府がとった対策と、それが人々の生活に与えた影響を理解している。(知技) ●江戸幕府が17世紀の前半に対外政策を変化させて「鎖国」した理由を、宗教の統制、外交と貿易の統制、大名の統

		制などから考察し、表現している。(思判表)
<b>4 鎖国下の対外関係</b> (p.120~121) 四つの窓口 オランダ・中国との貿易 朝鮮との交際	<ul style="list-style-type: none"> <li>長崎でのオランダ・中国との貿易について理解する。</li> <li>朝鮮との交際について理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●オランダ・中国とは正式な国交はなく、長崎において貿易が行われていたことを理解している。(知技)</li> <li>●朝鮮とは正式な国交があり、通信使の派遣や倭館での貿易などが行われていたことを理解している。(知技)</li> </ul>
<b>5 琉球王国やアイヌ民族との関係</b> (p.122~123) 琉球の支配 アイヌ民族との交易	<ul style="list-style-type: none"> <li>●琉球との関係について理解する。</li> <li>●アイヌの人々との関係を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●琉球が薩摩藩に支配されるとともに、中国と朝貢貿易を行っていたことを理解している。(知技)</li> <li>●アイヌの人々の生活や松前藩との交易の様子について理解している。(知技)</li> </ul>

### 3 節 産業の発達と幕府政治の動き

◆評価規準の例 (各時間)

主な学習内容	学習目標	評価規準の例
<b>1 農業や諸産業の発展</b> (p.124~125) 農業の発展 諸産業の発展	<ul style="list-style-type: none"> <li>●各地に特産物が見られるようになった理由を考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●各地に特産物が見られるようになった理由を、農業や諸産業の発展と関連付けて考察し、表現している。(思判表)</li> </ul>
<b>2 都市の繁栄と交通路の整備</b> (p.126~127) 三都の繁栄 街道の整備 海運の発達	<ul style="list-style-type: none"> <li>●交通路が整備され、三都をはじめとする都市が発展したことを理解する。</li> <li>●江戸時代に交通や都市が発達した理由を、幕府や藩の政治の仕組み、物資の流通などから考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●産業や交通の発達によって貨幣経済が進展し、財力をつけた町人の力が増していったことを理解している。(知技)</li> <li>●江戸時代に交通や都市が発達した理由を、幕府や藩の政治の仕組み、物資の流通などから考察し、表現している。(思判表)</li> </ul>
<b>3 幕府政治の安定と元禄文化</b> (p.128~129) 綱吉の政治と正徳の治 元禄文化	<ul style="list-style-type: none"> <li>●徳川綱吉の政治の特色を理解する。</li> <li>●文学や浮世絵の作品などから、この時期の文化の特色を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●徳川綱吉の政治が、それまでの武断政治から文治政治へと転換したことを理解している。(知技)</li> <li>●元禄文化が上方の町人を中心とする文化であることを理解している。(知技)</li> </ul>
<b>4 享保の改革と社会の変化</b> (p.130~131) 享保の改革 産業の変化と工業の発達 農村の変化と百姓一揆	<ul style="list-style-type: none"> <li>●徳川吉宗の改革の様子を理解する。</li> <li>●幕藩体制の基盤がゆらぎ、百姓一揆が起こったことを理解する。</li> <li>●社会の変化と百姓一揆・打ちこわしの発生件数との関係を考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●徳川吉宗の改革について、そのあらましを理解している。(知技)</li> <li>●社会の変化と百姓一揆・打ちこわしの発生件数との関係を考察し、表現している。(思判表)</li> </ul>
<b>5 田沼意次の政治と寛政の改革</b> (p.132~133) 田沼意次の時代 寛政の改革 ロシアの接近	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ロシアの接近に対する幕府の外交政策を、間宮林蔵らの北方探検を通して理解する。</li> <li>●田沼意次と松平定信の政治について、その背景を踏まえて、政治の特色を考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●蝦夷地や樺太などの北方探検が、ロシアの南下に対するものであったことを理解している。(知技)</li> <li>●田沼意次と松平定信の政治について、その背景を踏まえて財政政策の違いなどを考察し、表現している。(思判表)</li> </ul>
<b>6 新しい学問と化政文化</b> (p.134~135)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●寺子屋や藩校が各地に設けられたことを通して、教育への関心が高まってきた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●化政文化が江戸の町人を中心とする文化であることを理解している。(知技)</li> </ul>

国学と蘭学 化政文化 教育の広がり	ことを理解する。 ● 国学と蘭学の発達や化政文化の特色について、社会の動きとの関連を考察し、表現する。	● 藩校と寺子屋の広がりから、全国に教育施設が設けられていったことを理解している。(知技) ● 国学と蘭学が社会に与えた影響を考察し、表現している。(思判表)
<b>7 外国船の出現と天保の改革</b> (p.136～137) 異国船打払令と大塩の乱 天保の改革 雄藩の成長	● 外国船の接近とそれに対する幕府の対応について理解する。 ● 大塩の乱、天保の改革について、幕府政治にどのような変化が見られたのかを考察し、表現する。	● 外国船の接近とそれに対する幕府の対応について、幕府に新たな課題が生じたことを理解している。(知技) ● 大塩平八郎が乱を起こした理由や、天保の改革の内容について、幕府政治が行き詰まっていたことを考察し、表現している。(思判表)

## 第5章 開国と近代日本の歩み

### 1 節 欧米における近代化の進展

◆評価規準の例（各時間）

主な学習内容	学習目標	評価規準の例
<b>1 イギリスとアメリカの革命</b> (p.150～151) 近世ヨーロッパの動向 イギリス革命 アメリカの独立革命	● イギリスとアメリカの政治体制の変化を、きっかけになった出来事に着目して理解する。 ● イギリスとアメリカで近代民主政治への動きが生まれたことを理解し、現代の政治とのつながりを考察し、表現する。	● イギリスとアメリカが近代革命を経て近代国家を形成していった過程を理解している。(知技) ● イギリスとアメリカの政治の変化と現代の政治とのつながりを考察し、表現している。(思判表)
<b>2 フランス革命</b> (p.152～153) フランス革命の始まり ナポレオンの時代	● フランスの政治体制の変化を、きっかけになった出来事に着目して理解する。 ● フランスで近代民主政治への動きが生まれたことを理解し、現代の政治とのつながりを考察し、表現する。	● フランスが近代革命を経て近代国家を形成していった過程を理解している。(知技) ● フランスの政治の変化と現代の政治とのつながりを考察し、表現している。(思判表)
<b>3 ヨーロッパにおける国民意識の高まり</b> (p.154～155) 「国民」の登場 ヨーロッパと中南米諸国の動向	● 19世紀のヨーロッパと中南米諸国の動向を理解する。 ● 徴兵制や義務教育、政治参加を通じて、国民としての一体感が高まったことを考察し、表現する。	● ヨーロッパで国民国家が形成されていく過程と中南米諸国の独立を理解している。(知技) ● フランス革命の影響とヨーロッパにおける国民意識の高まりを考察し、表現している。(思判表)
<b>4 ロシアの拡大とアメリカの発展</b> (p.156～157) ロシアの拡大 アメリカ合衆国の発展 南北戦争	● ロシアとアメリカ合衆国が領土を拡大し、発展していく過程を理解する。 ● ロシアとアメリカ合衆国が発展する過程で、さまざまな問題を抱えていたことを考察し、表現する。	● ロシアとアメリカ合衆国が領土を拡大し、発展していく過程を理解している。(知技) ● アメリカ合衆国の発展の一方で、先住民の強制移住や黒人への人種差別などの問題があったことを考察し、表現している。(思判表)
<b>5 産業革命と資本主義</b> (p.158～159) 産業革命 資本主義の発展と社会問題 社会主義の広がり	● イギリスから産業革命と資本主義社会が広がっていく過程を理解する。 ● 産業革命を経て、経済の仕組みが大きく変化し、労働問題や社会問題が発生したことを考察し、表現する。	● 産業革命による変化と資本主義社会の成立が、ヨーロッパ諸国に広がっていく過程を理解している。(知技) ● 産業革命が欧米諸国に与えた影響を考察し、表現している。(思判表)

## 2 節 欧米の進出と日本の開国

◆評価規準の例（各時間）

主な学習内容	学習目標	評価規準の例
<b>1 欧米のアジア侵略</b> (p.160～161) 欧米とアジアの力関係 アヘン戦争と中国の半植民地化 インドと東南アジアの植民地	<ul style="list-style-type: none"> <li>● イギリスを中心とする欧米諸国が、工業製品の市場や原料の供給地を求めてアジアへ進出した過程を理解する。</li> <li>● 欧米諸国のアジア進出とそれに対するアジア諸国の動きを考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● イギリスのアジア進出によって起こったアヘン戦争やインドの大反乱を理解している。(知技)</li> <li>● 欧米諸国のアジア進出の理由と背景や、アジア諸国の対応と変化を考察し、表現している。(思判表)</li> </ul>
<b>2 開国と不平等条約</b> (p.162～163) ペリーの来航 不平等な通商条約	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ペリー来航によって、幕府が対外政策を転換し、開国したことを理解する。</li> <li>● ペリー来航から日米修好通商条約の締結までの過程、不平等な点について考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 日本の開国のきっかけや、日米修好通商条約の内容を理解している。(知技)</li> <li>● 江戸幕府が開国した理由や、欧米諸国と結んだ外交関係を考察し、表現している。(思判表)</li> </ul>
<b>3 開国後の政治と経済</b> (p.164～165) 幕府への批判の高まり 開港の経済的影響	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 幕府への批判の高まり、貿易開始による物価の上昇を理解する。</li> <li>● 開国によって、日本の政治や経済はどのように変化したかを考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 尊王攘夷運動や桜田門外の変、開国後の貿易の様子を理解している。(知技)</li> <li>● 開国による政治的及び社会的な影響を、人々の生活との関わりから考察し、表現している。(思判表)</li> </ul>
<b>4 江戸幕府の滅亡</b> (p.166～167) 薩摩藩と長州藩の動き 世直しへの期待 大政奉還と王政復古	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 倒幕への動きや幕府の対応、外国の動きから、江戸幕府の滅亡までの経緯を理解する。</li> <li>● 開国による政治的及び社会的な影響が、明治維新への動きを生み出したことを考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 大政奉還が行われ、江戸幕府が滅ぶまでに起こった主な出来事を理解している。(知技)</li> <li>● 薩摩藩や長州藩、会津藩の動きと幕府政治の推移、開国による人々の生活の変化を考察し、表現している。(思判表)</li> </ul>

## 3 節 明治維新

◆評価規準の例（各時間）

主な学習内容	学習目標	評価規準の例
<b>1 新政府の成立</b> (p.168～169) 明治維新 藩から県へ 身分制度の廃止	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 新政府の方針や諸改革の内容、中央集権国家の体制が確立していったことを理解する。</li> <li>● 明治維新による社会の変化、特に身分制度の廃止の意義と問題点について考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 新政府が成立し、近代国家の基礎が整えられていったことを理解している。(知技)</li> <li>● 明治維新によって、幕藩体制や身分制度がどのように変化したかを考察し、表現している。(思判表)</li> </ul>
<b>2 明治維新の三大改革</b> (p.170～171) 三大改革 学制の公布 徴兵令 地租改正	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 新政府が行った学制・兵制・税制の改革の内容を理解する。</li> <li>● 明治維新の三大改革が人々の生活に及ぼした影響について考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 学制・兵制・税制の改革の内容を理解している。(知技)</li> <li>● 新政府が行った学制・兵制・税制の改革の影響を、江戸時代の制度と比較しながら考察し、表現している。(思判表)</li> </ul>

<p><b>3 富国強兵と文明開化</b> (p.172～173)</p> <p>富国強兵 殖産興業政策 文明開化 新しい思想</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 新政府が行った富国強兵・殖産興業政策の内容を理解する。</li> <li>● 文明開化の風潮について、社会の様子や人々の生活が大きく変化したことを考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 近代的な産業発展のために政府が進めた富国強兵・殖産興業政策の内容を理解している。(知技)</li> <li>● 文明開化の風潮について、社会の様子や人々の生活が大きく変化したことを、江戸時代と比較しながら考察し、表現している。(思判表)</li> </ul>
<p><b>4 近代的な国際関係</b> (p.176～177)</p> <p>ぶつかる二つの国際関係 岩倉使節団 清や朝鮮との関係</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 近代的な国際関係の下で進められた、明治初期の外交政策を理解する。</li> <li>● 明治初期の外交政策について、岩倉使節団の目的と帰国後の近代化への影響を考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 新政府が行った岩倉使節団の派遣や、清や朝鮮への外交政策を理解している。(知技)</li> <li>● 新政府が行った外交政策について、欧米諸国やアジア諸国との関係から考察し、表現している。(思判表)</li> </ul>
<p><b>5 国境と領土の確定</b> (p.178～179)</p> <p>南北の国境の確定 北海道の開拓とアイヌの人々 沖縄県の設置と琉球の人々</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 領土の確定について、近代的な国際関係の下で、新政府が行った外交政策を理解する。</li> <li>● 北海道の開拓と産業の関係、沖縄県成立の過程での中国との関係について考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 国境と領土の確定について、北海道や沖縄などに対して新政府が行った政策を理解している。(知技)</li> <li>● 蝦夷地と琉球王国が日本に組み込まれる過程について考察し、表現している。(思判表)</li> </ul>
<p><b>6 領土をめぐる問題の背景</b> (p.180～181)</p> <p>歴史的に見る島々の領有 あしかの舞台・竹島 日本人の生活の舞台・北方領土 かつお節製造の舞台・尖閣諸島</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 竹島、北方領土、尖閣諸島が我が国の固有の領土になった時期や経緯と、日本政府の見解を理解する。</li> <li>● 竹島、北方領土、尖閣諸島について、我が国の固有の領土として人々の生活の舞台となった背景を考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 竹島、北方領土、尖閣諸島の領有の歴史的な経緯と日本政府の見解を理解している。(知技)</li> <li>● これらの島の領有に関する各国の主張も踏まえ、我が国の固有の領土である背景を考察し、表現している。(思判表)</li> </ul>
<p><b>7 自由民権運動の高まり</b> (p.182～183)</p> <p>自由民権運動と士族の反乱 高まる自由民権運動 国会の開設をめぐる対立</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自由民権運動が始まった経緯や、改革への不満から士族の反乱が起こった過程を理解する。</li> <li>● 憲法草案などの資料から、自由民権運動がどのような社会の実現を求めていたのかを考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自由民権運動のおこりや政党の結成、激化事件に至る過程を理解している。(知技)</li> <li>● 自由民権運動から憲法制定に至るまでの時期について、民権側と政府側の立場からそれぞれの主張を考察し、表現している。(思判表)</li> </ul>
<p><b>8 立憲制国家の成立</b> (p.184～185)</p> <p>憲法の準備 憲法の発布 帝国議会の開設</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 政府が主導した憲法の制定過程、大日本帝国憲法の内容の特徴を理解する。</li> <li>● 議会政治が始まったことの歴史的意義や、現代の政治とのつながりを考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 憲法の制定過程とその内容の特徴、選挙制度などを理解している。(知技)</li> <li>● 大日本帝国憲法の制定過程とその内容の特色を踏まえ、その特色と現代とのつながりを考察し、表現している。(思判表)</li> </ul>

**4 節 日清・日露戦争と近代産業**

◆評価規準の例 (各時間)

主な学習内容	学習目標	評価規準の例
<p><b>1 欧米列強の侵略と条約改正</b> (p.186～187)</p> <p>列強と帝国主義 条約改正の実現 東アジアの情勢</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 欧米諸国の植民地獲得競争、日清戦争に至る背景としての東アジアの情勢を理解する。</li> <li>● 条約改正に至る過程や、欧米諸国と対等な外交関係が結ばれるまでの動きを考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 欧米諸国の植民地獲得競争、日清戦争に至る背景としての東アジアの情勢を理解している。(知技)</li> <li>● 条約改正について、長年にわたる課題として取り組まれたことを、背景を踏まえて考察し、表現している。(思判表)</li> </ul>

<p><b>2 日清戦争</b> (p.188～189) 日清戦争 三国干渉と加速する中国侵略 日清戦争後の日本</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日清戦争に至る動き、戦争のあらましと国内外の対応を理解する。</li> <li>下関条約の内容を理解し、戦後のアジアの国際関係や国内情勢について考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日清戦争に至る動き、戦争のあらましと国内外の対応を理解している。(知技)</li> <li>日清戦争の日本や清への影響を考察し、表現している。(思判表)</li> </ul>
<p><b>3 日露戦争</b> (p.190～191) 義和団事件 日露戦争 日露戦争後の日本と国際社会</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ロシアやイギリスの動向と日本との関係に着目し、日露戦争に至る動き、戦争のあらましと国内外の対応を理解する。</li> <li>日露戦争について、戦争の規模や国内外の反応を考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日露戦争に至る動き、戦争のあらましと国内外の対応を理解している。(知技)</li> <li>日露戦争の日本や世界への影響について、日清戦争と比較しながら考察し、表現している。(思判表)</li> </ul>
<p><b>4 韓国と中国</b> (p.192～193) 韓国の植民地化 満鉄の設立 中華民国の成立</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>韓国の植民地化と中華民国が建国される過程を理解する。</li> <li>韓国の植民地化への民衆の抵抗、中国国内の民族的自覚の高まりについて考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>韓国の植民地化と中華民国が建国される過程を理解している。(知技)</li> <li>韓国や中国の国内での動き、政治の変化について考察し、表現している。(思判表)</li> </ul>
<p><b>5 産業革命の進展</b> (p.194～195) 産業と資本主義の発展 社会問題の発生 地主と小作人</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>明治時代の産業と資本主義の発展を理解する。</li> <li>産業革命によって、都市や農山漁村の生活に変化が生じたことを考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>近代産業が発展して資本主義の基礎が固まったことを理解している。(知技)</li> <li>産業と資本主義の発展によって、日本で発生した社会問題を考察し、表現している。(思判表)</li> </ul>
<p><b>6 近代文化の形成</b> (p.196～197) 日本の美と欧米の美 新しい文章 学校教育の普及</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>近代文化の形成を、学問や科学の分野で国際的な業績が生まれたことや教育の普及から理解する。</li> <li>明治時代の文化の特色を考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>近代文化が形成されたことを、学問・教育・科学・芸術の発展を通して理解している。(知技)</li> <li>近代文化は、伝統的な文化の上に欧米文化を受容して形成されたことを考察し、表現している。(思判表)</li> </ul>

## 第6章 二度の世界大戦と日本

### 1節 第一次世界大戦と日本

◆評価規準の例 (各時間)

主な学習内容	学習目標	評価規準の例
<p><b>1 第一次世界大戦</b> (p.208～209) ヨーロッパ諸国の対立 第一次世界大戦</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第一次世界大戦を、起こった背景、経過、被害などを通して理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第一次世界大戦の背景・経過・結果や影響から、戦争の概要を理解している。(知技)</li> </ul>
<p><b>2 ロシア革命</b> (p.210～211) ロシア革命 シベリア出兵とソ連の成立 独裁と計画経済</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ロシア革命の背景と経過、その後のロシアの歩みについて理解する。</li> <li>ロシア革命について、当時の状況を考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ロシア革命の背景と経過、計画経済について理解している。(知技)</li> <li>ロシア革命に対する日本の動きを理解し、ロシア革命の様子を考察し、表現している。(思判表)</li> </ul>
<p><b>3 国際協調の高まり</b> (p.212～213) ベルサイユ条約と国際連盟 国際協調の時代 民主主義の拡大</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際連盟の特色を、世界平和と国際協調の面から理解する。</li> <li>大戦後の欧米諸国の国際関係の変化を、大戦の反省などに着目して考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際連盟の抱えた課題や問題点や、ヨーロッパの変化を理解している。(知技)</li> <li>大戦後の国際協調や民主主義の動きを、大戦の規模や犠牲者の数などと関連付けて考察し、表現している。(思判表)</li> </ul>

<p><b>4 アジアの民族運動</b> (p.214～215) 第一次世界大戦と日本 中国の反帝国主義運動 朝鮮の独立運動 インドの民族運動</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アジアにおける民族運動が高まった理由について、第一次世界大戦との関係に着目して考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アジアにおける民族運動が高まった理由を、ベルサイユ条約の内容と関連付けて考察し、表現している。(思判表)</li> </ul>
---	--	--

**2 節 大正デモクラシーの時代 (配当 3 時間)**

◆評価規準の例 (各時間)

主な学習内容	学習目標	評価規準の例
<p><b>1 大正デモクラシーと政党内閣の成立</b> (p.216～217) 第一次護憲運動 大戦景気と米騒動 本格的な政党内閣の成立 大正デモクラシーの思想</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大正デモクラシーについて、護憲運動や普通選挙の実現を通して理解する。</li> <li>政党内閣やデモクラシーの思想について、現代と比較しながら考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大正デモクラシーについて、思想や動きの概要を理解している。(知技)</li> <li>大正デモクラシーの思想を現代と比較して考察し、表現している。(思判表)</li> </ul>
<p><b>2 広がる社会運動と男子普通選挙の実現</b> (p.218～219) 社会運動の広がり 差別からの解放を求めて 女性による運動 男子普通選挙の実現</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>デモクラシーの高まりなどの影響を受け、多くの民衆運動が盛んになったことを理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>普通選挙の実現などについて、運動の概要を理解している。(知技)</li> </ul>
<p><b>3 新しい文化と生活</b> (p.220～221) 教育の広がり メディアの発達と文化の大衆化 新しい思想や文化 都市の生活</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大正期の教育と文化について理解する。</li> <li>市民生活の変化を通して、文化の大衆化などを考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関東大震災の概要と、大正期の教育と文化の特徴を理解している。(知技)</li> <li>市民生活の変化を通して、文化の大衆化などを考察し、表現している。(思判表)</li> </ul>